

平成 29 年 7 月 20 日

関係各位

熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学
教授 片渕秀隆

拝啓

九州北部豪雨で被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。日田市の産婦人科の先生にご連絡しました。3軒あるクリニックと日田済生会病院との連携で周産期医療には大きな問題はないとのことでした。しかし、朝倉医師会病院の院長先生からの短い返信メールには厳しい状況が述べられていました。同じ大災害からの復興途中にある熊本にとっては他人事ではなく、一日も早く日常の生活を戻られることを願うばかりです。

1975年（昭和50年）に創始された日本コルポスコピー研究会を母体とした日本婦人科腫瘍学会の第59回学術講演会の熊本開催が、7月27日（木）～29日（土）と迫って参りました。過去、私たちの教室の第6代の加来道隆教授が第10回日本癌治療学会学術講演会を1972年（昭和47年）に担当しておられますが、残念ながら東京開催でした。これまで熊本で婦人科腫瘍学に関わる大きな学会を開催した歴史がなく、2千人の参加をお招きするべく、教室をあげて万端の準備を整えております。今回は、『婦人科腫瘍学アカデミアへの回帰：臨床と病理』をテーマに掲げさせて頂きました中で、昨年より170題多い650題もの一般演題の応募を頂きました。オープニング・レクチャーを京都大学の藤井信吾名誉教授にお願い致しました。特別講演には、毎年ノーベル賞受賞候補に名前が挙がっています大阪大学免疫学フロンティア研究センターの坂口志文教授、私のジョーンズ・ホプキンス大学時代の分子生物学のボスであったCornell大学のLora Hedrick Ellenson教授をお招きしました。28日（金）の午後7時15分からのホテル日航熊本での総懇親会には、熊本産科婦人科学会の会員の皆様には既に招待のご案内をお送りしております。万障お繰り合わせの上ご参加下さい。

8月と9月の予定表を同封致しました。8月5日（土）、6日（日）の恒例の医局旅行は、7年ぶりに特急かわせみやませみで人吉温泉に参ります。

敬具